C・C・C
Create Communicate Challenge

令和 6年 2月14日(水)
国立市立国立第三中学校
第1学年 学年通信 No.19

充実した自然体験（スキー）教室でした。

スキー教室から早3週間。なんと、もう、学年末考査2週間前です。9日（金）には試験範囲表が配られたので、計画的に家庭学習を進めましょう。

スキー教室中に病院にかかるような怪我・病気になる人はいませんでした。また、トラブルもなく、時間を守り、周りを見ながら行動できた宿泊行事だったので、スキー教室に関わってくださった宿舎の方・インストラクターの方たちからも、「とてもよい自然体験（スキー）教室でしたね。」とお褒めの言葉をいただきました。

「高いところに行くためのリフトが怖い…」「どうしたらハの字（プルークボーゲン）から曲がれるの？」という人もいたかもしれません。スポーツは危険や恐怖と隣り合わせですが、それを克服できるから楽しさや充実感が見えてくることも分かった行事でした。

この後は大きな行事がなく、いつもの毎日になりますが、スキー教室で実践できた「時間を守る」を意識して生活していきましょう。

【作文】自然体験教室を終えて

「思い出に残るスキー教室」　　1組代表生徒

スキー教室1日目、スキーをやったことがあったから楽しみな気持ちが強かったけど、室長として班員をまとめたり、時間を見ながら行動できるか少し不安な部分もあった。宿舎に着くのが早かったので、インアウトルームで過ごす時間が長く、たくさんトランプなどで遊べた。さらにインアウトルームの部屋の室長と協力して時間を見ながら行動できたから、だんだん不安は消えていった。スキー講習では教わることが多く、自分が思うように気持ちよく滑りたいなという気持ちはあったけど、我慢した。

2日目は、朝から夕方まで忙しく、とても疲れた。でも、夜ご飯がすごくおいしかった。自由時間のお土産購入では、新潟限定のお菓子をたくさん買った。

3日目のスキー講習では、リフトで隣になった友達と話をして仲良くなれた。さらに両足を揃えた曲がる滑り方も少しできるようになった。1日目と2日目にやった練習の努力が結ばれたなと思った。

このように、三日間の中で室長としての責任感を高めて、良い人間関係を築けて新しい友達も作れたので、最高の一生思い出に残る楽しいスキー教室にできたと思った。

「スキー教室を通して」　　2組代表生徒

　僕は、スキー教室を通して、ウィンタースポーツの楽しさを、そして仲間と協力することの大切さを知ることができました。

　僕は、生まれてから1度もスキーやスノーボードといったウィンタースポーツをやったことがありませんでした。だから、スキー教室に行く前は雪の上を滑ることをとても楽しみにしていました。そして当日宿舎につき、荷物を置いて、実際にスキー講習が始まりました。始まってすぐ、スキーはイメージの何倍も難しいことを知りました。雪の上では滑る事はもちろん、立って歩くことさえ上手くできませんでした。そして1日目が終わり、僕はスキーに苦手意識ができていました。

　2日目はゲレンデの上に登り、滑って降りる練習をしました。2日目は朝から少し「めんどくさいな」と思っていました。でも滑ってみて、僕は初めてスキーの楽しさに気づくことができました。1日目にはできなかったハの字で止まることができるようになって、とても嬉しかったです。3日目にはターンもできるようになって、失敗しても仲間が励ましてくれて、いろいろなことに気付くことができました。

　今回のスキー教室は大成功だったと思います。3年生にも修学旅行があるので、その時もルールを守って、楽しく過ごせる三日間にしたいです。

3組代表生徒

　私はスキーなんてしたことがなかったし、宿舎班にも講習班にも普段しゃべらない人やしゃべったことのない人もいて、あまり行きたくないと思っていました。

　でも、結果としては「行って良かった」と思います。1ヵ月悩んで買ったカバンが小さくて物が入らなかったり、持っていこうと思っていた物を忘れたり、カメムシが自分のタオルにとまっていたり、出遅れて飲み物が買えなかったり、体が痛くなったり、スマホが恋しくなったり、酔い止めを 2 回とも飲みそこねたり、1日で17回転んだり。大変なこともたくさんあったけど、成功したりうまくいって嬉しかったことの方が多かったので、よかったです。本当は滑れるようになるとは思っていなかったので、嬉しかったです。他の人よりも転んだ回数は多かったけど、行けてよかったと思います。